

みどり

midori

No.129

公益財団法人
かながわトラストみどり財団

SUMMER
2023

小網代の森の保全是

ビジョンから現場管理まで流域思考



もくじ

01 連載 虫とりの日常② 「起きたら春がいい」

横山 寛多

02 小網代の森の保全是 ビジョンから現場管理まで流域思考 NPO 法人小網代野外活動調整会議

岸 由二

07 小網代の森アクセスマップ

08 自然観察・森林ボランティア

10 ナラ枯れ対策と木質資源活用について

11 お知らせ

かなユリ・チャレンジ、成長の森、会員募集推進員の募集、みどりの大使

13 小網代の森寄附キャンペーン

会員の皆さまへ

※転居先不明で返送されるケースが増えてます。

住所などの変更がありましたらご連絡ください。

※機関誌「ミドリ」は財団公式WEBサイト

(<https://ktm.or.jp>)で読むことができます。

発送停止をご希望の方は財団事務局までご連絡ください。

表紙の 写真



小網代の森の定例活動に同行した。今回は道沿いにかかる低木の伐採や除草が主作業で、梅雨の湿度の高い中でも軽やかに、楽しくこなし、笑顔が絶えない作業チームだった。

(2023年6月15日(木)活動日 撮影)
記事→P2へ

夏虫色(なつむしいろ)

『枕草子』の中で清少納言が、「いと暑きころ、夏虫色したるも、涼しげなり」と、真夏のころ、夏虫の色は涼しげだとよんでいます。その色は薄緑とされ、蝉や蛾などの羽の淡い色をあらわすとされています。

林縁部に自生する低木のクサギは、夏の間、白い花を盛大に咲かせ、その実はるり色で、草木染にすると夏虫色といえるような、淡く翡翠にも似た上品な色合いを出してくれます。

かながわの未来に、今できること



公益財団法人

かながわトラストみどり財団

1985年に発足以来、神奈川のみどりの保全と創造に関する様々な活動を展開しています。約1万人の会員の支援や募金寄附、ボランティアの皆様の協力を受け、今ある自然環境を次の世代に引き継いでいけるよう取り組んでいます。

☎ 045-412-2525

📘 facebook.com/ktm.or.jp

✉ midori@ktm.or.jp

📷 kanagawa_trust

🐦 @kanagawa_midori

会員 & 寄附募金のお知らせ

トラスト会員を募集しています。どなたでも会員になれます。ご支援ください！

普通会员（トラスト会員）

かながわのみどりを守り育てる運動を支える会員です。

個人	年会費	
	大人	小学生
個人	2,000円	500円
家族	1家族 3,000円	中・高校生 1,000円
法人/団体	1 □	10,000円

トラスト緑地保全支援会員 (オプション・任意加入)

普通会员の方に任意の加入で特定の緑地を支援していただく会員です。

年会費	
個人/家族	3,000円
法人/団体	1 □ 10,000円

※5年分の会費を1回でお払いいただくと6年間会員になれます。

会員特典

●会員証

みどりのトラスト会員の証として会員証を発行します。

●機関誌「ミドリ」

財団の最新情報や県内外の自然、環境問題など盛りだくさんの内容です。

●優待施設の利用

会員証及び優待券によって、各地の指定施設を優待利用できます。トラスト運動に賛同していただいている施設です。



財団への会費や寄附は税額控除の対象になります。

現在の会員数

(2023年3月末現在)

	普通会员	緑地保全支援会員
個人会員	3,467人	465人
家族会員	5,593人	684人
法人・団体会員	327人	47人
特別・名誉会員	311人	
計	9,698人	1,196人

遺贈による寄附について

近年、遺言による寄附について関心が高まり、遺贈を受けた公益事業を推進しております。遺言の財産受取人として、公益財団法人かながわトラストみどり財団をご指定いただけます。

「かながわトラストみどり基金」への寄附状況

寄附累計額(2023年3月末現在)

14億6,274万4,566円

寄附者名(2023年1月～3月分)※敬称略、アイウエオ順

イオンマーケット株式会社、大磯プリンスホテル、神奈川えびね会、株式会社神奈川保健事業社、株式会社環境管理センター、佐藤教子、新横浜プリンスホテル、藤崎英輔

「かながわトラストみどり財団」への寄附(2023年13月～3月)

池谷 善博、石塚 圭子、奥津 信子、片山 千明、久間 祥多、久保 智子、小網代会館、小山 俊一、佐久間 奈都子、柴崎 えつ子、CEPAジャパン、姫野 英子、三好 吉清、矢部 黎子、山本 勝久、横濱 英紀、吉村 佐知子

※掲載の承諾をいただいた皆さまをご紹介させていただいております。



絵と文 横山 寛多 (絵本作家・イラストレーター)

虫が好きだと言うと「1番好きな虫はなんですか」と聞かれることが多い。

だいたい「ハナムグリです」とこたえる。

とはいえ、虫の面白さはバリエーションの豊富さだから、そういう時はアイドルグループの「箱推し」のように「硬い虫です」とこたえることもある。

小学生の時に図鑑を読んだ時からハナムグリには憧れている。図鑑には冬眠するハナムグリの絵が載っ

ていた。土の中の暖かそうな小さな穴の中で春を寝て待つハナムグリの絵になぜだかとても惹かれた。

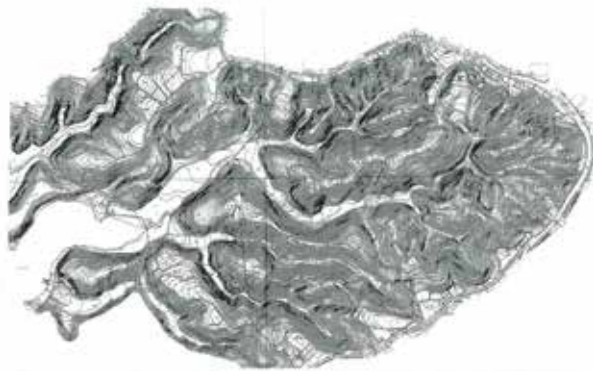
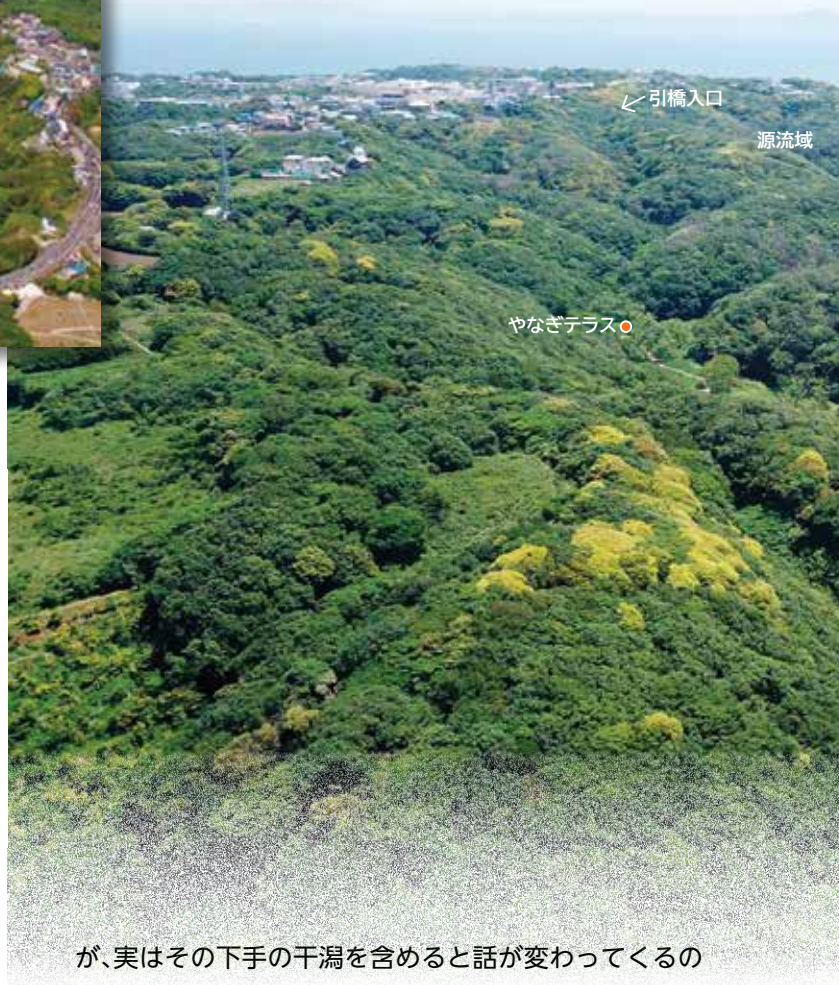
春になるまで寝て、起きたら好きな花に頭からうもれて過ごす。こんな正直で素晴らしい生き方があるだろうか。

自分をふりかえると、わりと、まあまあ、そんな生活をしているので、子どもの頃の憧れは大事なんだなあ、とつくづく思う。

小網代の森の保全是ビジョンから



小網代の森全景 (C)神奈川県青少年センター



浦の川流域とその周辺の地形図

●流域思考の小網代の森の保全

神奈川県が小網代の森の保全方針を公表して今年で28年。国土交通省による近郊緑地保全区域指定から18年。保全の基本整備がととのい、一般公開された2014年夏から、すでに9年がたちました。そのすべてのステップで小網代の森の自然保護を誘導してきたのは、流域という地形、生態系を基礎に考え工夫するという「流域思考」です。今回はその流域思考をテーマにします。

流域は雨の水を水系に集める地形のことです。水系の代表として採用されるのは、もちろん川。地表を流れるすべての川は、その川に雨の水を集める流域という地形とともにあります。小網代の森とよばれる70ha規模の緑が雨の水を供給する川は、浦の川とよばれる全長1.2km規模の小河川。いくつかの支流を合流させる流れなので浦の川水系といいます。2005年、国交省はこの浦の川水系の流域を、ほぼ丸ごと近郊緑地保全区域として保全したのでした。

すこし追加の説明も必要です。浦の川水系は眺望テラスから望める河口の石橋が終点とされているのです

が、実はその下手の干潟を含めると話が変わってくるのです。干潟は上げ潮の時は一面の海ですが、引き潮になれば石橋から数百メートル下手まで干上がってしまいます。そのため浦の川の河口は、干潟の滞筋^{みおすじ}を通して、その先端まで移動するからです。国交省による小網代の森の保全は、この事情もふまえ、最大引き潮の干潟の先端までを考え、それをつつむ左右の岬をふくめて保全地域に設定されているのです。

しかしながら、干潟そのものは海域で、陸域の保全に関する制度では対応できませんので、流域思考で保全された小網代の70haに、3ha規模の干潟は含まれません。

さらにさかのぼって歴史をたどると、1985年に公表された165haという大規模な三戸小網代開発に浦の川の流域が入っていました。その開発予定地を複数の異なる流域に分割して、独自の環境アセスメントを実施したのは「ポラーノ村を考える会」という市民組織。そこで分析を担当したのが、私(当時慶應義塾大学助教授・生態学専攻)でした。そこで開発地域を区分する複数の流域のうち、源流から干潟河口にいたるまで自然地形が丸ごと残されていたのは浦の川の流域だけと判明したのでした。

現場管理まで流域思考

NPO法人小網代野外活動調整会議 代表理事 岸由二



京浜急行の三戸・小網代地区開発構想概略図
(1985年の京急・三浦開発基本構想から略写)

サラサヤンマ



私の分析をうけ、ポラーノ村を考える会は三戸小網代開発については賛成。ただし、浦の川の流域は源流から干潟まで、首都圏全域で唯一の完結している自然流域地形であり、その形状を保全し、再生すべきとの結論にいたりました。流域生態系の総合性、干潟そして小網代湾の自然や漁業資源保全の観点からも重要であると、1987年、鉄道延伸、道路整備、住宅開発、農地造成すべてを適切にすすめながら、浦の川の流域全体はしっかり保全活用してゆきましょう、という代案提示にいたったものです。

細部のさまざまな変更はありましたが、1995年の神奈川県での保全案も、2005年の国土交通省の保全区域設定も、1987年当初の私たちの提案とほぼ同様の流域思考ですめられてきたのでした。ちなみに国交省の保全区域指定文書には「(小網代の森保全区域は)関東地方では唯一、水系を軸に森林、湿地、干潟及び海が自然状態でまとまった完結した集水域(流域と同義)であり、オオタカやサラサヤンマなどの希少種を含む貴重な生態系が形成されている」と記されています。

●多自然型の湿原創出

2005年に保全が決まり、2011年には近郊緑地特別保全地区として必要な用地の大半が県管理となった浦の川の流域は、2010年前後からNPO法人小網代野外活動調整会議と神奈川県によって、一般開放のための整備作業が始まりました。散策路の整備と、里山型の農業利用がおわって全域が乾燥したササ原に変貌していた谷底部の湿原化です。

かつて全域が水田だった浦の川の流域の5ha規模の谷底は、2000年代にはいると水路の縦浸食がすすんで激しい乾燥化が進み、全域がうっそうとしたササ原に変貌していたのです。

ここでも力を発揮したのは流域思考でした。小網代の森の流域は大小の小流域で構成されています。降水量と平均的な比流量(大地から染み出してくる地下水の量)から、湿原再生に利用できる水の量は概算できるのです。その計算から流域に降った水をうまく配分すれば本流を完全渇水させることなく、5ha規模のササ原を湿原化することは可能と判断し、2009年夏から湿原創出を



中央の谷：上流域 ハンノキの林



中央の谷：ジャヤナギの湿地林



中央の谷：アシの群落



河口干潟：石橋から延びる滞筋

実行したのです。

作業のあらすじは以下の通りです。まずはうっそうと茂ったササ原を全刈する。伐採後の低地に周辺の小流域が供給する雨水を誘導する水路を工夫する。水路の各所に堰をもうけ、大雨時に伐採地全域が水没するように工夫する。2014年春には谷底の湿原化がほぼ全域にわたって実現し、7月20日から一般開放され今日に至っています。

湿原創出にあたってはホタルやトンボの生息地となる水路の整備だけではなく、地下水位のコントロールを通して、多様な湿原生態系の創出も工夫されました。大型シダであるアスカイノデの群落、ハンゲショウの群落、ハンノキの湿地林、ジャヤナギの森、オギ、アシ、クサヨシ、ガマ、ハンゲショウなどの群落が創出され、現在にいたっています。

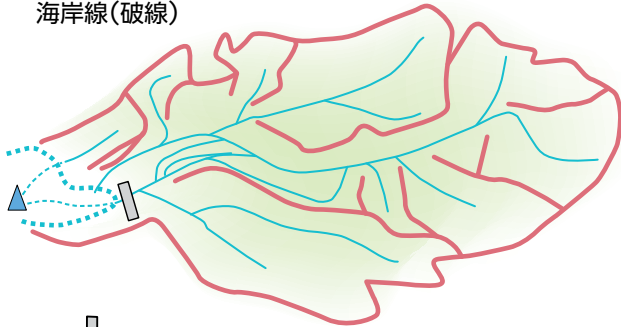
多様な湿原の形成に対応してサラサヤンマを筆頭とするトンボ類や、ゲンジボタル・ヘイケボタルの保全・回復も進んでいます。絶滅の心配されたサラサヤンマについては、湿原創出で様々な実験も行われてきましたが、地下水位の高いジャヤナギの湿地林を保全、創出することが有効だったようです。ホタルについては、水際の植

生の伐採を通して日照条件を継続的に改善することで増加・保全が実現しています。

湿原の創出についての最大の危機は、2011年3月11日。東日本大地震のおり、相模湾でも地震に呼応する振動性の高潮が発生し、標高7mのやなぎテラス付近まで川に沿って大遡上して、湿原全体を覆う状況になりました。サラサヤンマはその年、一時は姿を消しましたが無事に復活。問題は高潮によって湿原奥まで運ばれてしまったアレチウリやネズミホソムギ等の有害外来植物。以後、除去する作業は今日までずっと続いています。特に全域に広がってしまったネズミホソムギは花粉症を発症させることもあり、えのきテラスなど休憩地周辺における抑制が大きな課題となっています。

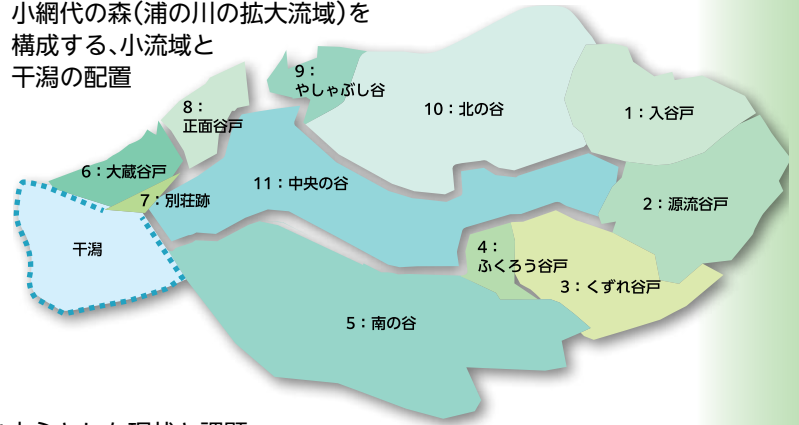
これに関連して特記しておきたいのが、ハマカンゾウという在来の海浜植物の育成です。ハマカンゾウは三浦半島の海岸線の各所に生息するキスゲ属の植物です。小網代の森では大蔵沢と呼ばれる谷の地先に数百株の群落があったのですが、3月11日の大地震が引き起こした高潮で地盤とともに群落全体が流出してしまい、30株ほどが残るのみとなりました。再生をめざす工夫を始め、大きく応援いただいたのは東芝株式会社でした。グ

浦の川流域の尾根系(赤実線)、水系(青実線)、海岸線(破線)



浦の川河口の石橋 ▲引き潮時の河口(干潟の滞筋の河口)

小網代の森(浦の川の拡大流域)を構成する、小流域と干潟の配置



小網代の森(浦の川流域)を構成する主な小流域の谷底部を中心とした現状と課題

流域区分	谷底部の現況	課題
1:入谷戸	草刈り継続	斜面の危険な巨木処理
2:源流谷戸	湿地創出中	将来は谷奥の石切り場開放
3:くずれ谷戸	ササ伐採・湿地創出中	ハンノキ林更新予定
4:ふくろう谷戸	湿地再生済み	フクロウの保護検討
5:南の谷	クサヨシ主体の湿地再生済み・アユの遡上を可能とするための下流流路の整備継続中。	一般利用は誘導せず生物多様性重視の生態系創出拠点としていく。
6:大蔵谷戸	全域の森林整備・水循環整備進行中。	地先の海岸線の整備と併せてアカテガニの総合的な生息地としていく。
7:別荘跡	人工植生地・ササ原・竹林の湿地化推進中	津波避難路整備必要か。
8:正面谷戸	中央の谷の河道整備優先で湿原整備未着手	次期整備計画で総合的に湿原整備を進める。
9:やしゃぶし谷	クサヨシ・ハマカンゾウの湿地整備推進中・津波避難路整備	
10:北の谷	下流大湿原を維持するための水源整備を継続。周辺の下水道未整備地区から流入する家庭排水(浄化槽による処理済み)の自然浄化も検討中。	小網代湾の富栄養化を抑制するため、池の設置等で浄化能力のさらなる向上を図る。
11:中央の谷	木道を軸として訪問者の安全で魅力的な環境体系・学習を支える整備を継続。全域にわたり乾燥したササ原を除去。水系整備を手段として多様な湿原植生(*)を再生し、有害外来植物を排除しつつ継続管理中。希少動物の保護を推進中。 *:アスカノイデ・ハンノキ・ジャヤナギ・ハンゲショウ・クサヨシ・アシ・オギ・ヒメガマ・ミゾバ・セキショウ・シロバナサクラタデ・アイアシ・ハマカンゾウ等	高潮で湾から打ち上げられてくるアレチウリ、ネズミホソムギなど有害外来植物の継続的な抑制が不可避。ハマカンゾウの積極的な育成等による外来種抑制の工夫もさらに進める。
★干潟	制度的には保全是未定。極めて豊かな生物多様性を擁しているが、2011年3月11日の地震に連動する波動で、アマモ場、湾岸の海浜植物生育地が引き波にさらわれて壊滅状態。干潟全般にわたり堆積土も消失しており、カニ類が激減し、現在、回復途上。調整会議によるマナー啓発で保護・回復が続いている。	将来、漁業、観光業、自然保護の3分野が協調できる方式を模索して、神奈川県の特例条例で保全していく道が期待されている。

ループ会社で横須賀市にあった東芝ライテックさんが、敷地内の芝地を畑にし、その30株のハマカンゾウを育成し2018年には1000株規模に増殖させて、えのきテラス周辺の、ネズミホソムギの大群落地域に戻して下さったのです。それから5年。当地のハマカンゾウは1万株規模の大群落に育ち、猖獗(しょうけつ)していたネズミホソムギ、セイタカアワダチソウを大きく抑制するグランドカバーとなり、8月半ばには尾瀬ヶ原のニッコウキスゲ群落のような見事な花園となって、訪問者の目もたのませてくれています。

●小網代流保全の未来課題

流域思考に基づく小網代の多自然管理は、神奈川県委員会(委員長:岸)が策定した基本計画に基づいてすすめられています。豪雨による河道閉塞に対応する水路創出や広域のナラ枯れなど、計画には全くなかった大規模な変更などもあり、積み残しの部分もあるのですが、全体としてはほぼ計画通りの展開で、近々、次期計画が検討されてゆくはずです。

そんな展開の中、流域の視野から、ぜひとも工夫をす

めるべき今後の大課題のいくつかを、ここに紹介しておきたいと思います。

第一は、平常時総流量の増加をめざすべし、ということです。平常時流量というのは、雨の降っていない日々、流域を構成する小流域地形から染み出す水によって形成される流量のことです。いまから30年ほど前、まだ湿原の乾燥化がすすまず、水田跡の湿地が残っていた時代、浦の川下流の平常時流量は毎秒500ccほどでした。その後の湿原回復作業によって、この流量の過半は、湿原維持のために転用され、現在は毎秒200cc以下に減少しているのです。湿原をしっかりと維持するための水量は減らすわけにゆきません。その制約のもとで、本流の平常時流量をどこまで増加させることができるか、これからの大きな挑戦です。本流に絞り水を供給する大小の流域(谷戸・沢)にしっかりと大量の土を堆積させ、保水させ、平常時の流出量(比流量)を増やしてゆかなければなりません。今後10年、20年をかけ本流下流の平常時流量を秒400～500ccに増加させることができれば、アユやハゼ類の遡上をしっかりと応援してゆくことができるでしょう。

第二は、周辺地域から流入する家庭排水のさらなる自



小網代湾夜光虫性の赤潮 2017年6月30日

小網代の森全体

然浄化をすすめることです。小網代源流部周辺の住宅地は下水道に接続できていないため、家庭排水は合併浄化槽による処理を受けたのち、行政の設定した水路をとおして一部の支流の谷に排水されています。最大の配水先である北の谷では、礫を積み上げたダム構造や、セキショウ群落の育成などを通して自然浄化方策が実施されており、河口大湿原にそそぐ段階では、ホテルもトンボも無事生息できる状況になっているのですが、リンについては油断ができません。リンは窒素のように土壤細菌の活性を介して気体化することもなく蓄積され、長期にわたれば小網代湾の赤潮を誘導する危惧もあるからです。当面期待される方策は、北の谷の出口に大きな池構造を創出し、そこにモツゴやフナ程度の淡水魚を移植して、水鳥による捕食の食物連鎖を通して除去をすすめること。小網代の水辺にはかつてメダカやモツゴは確認されているのですが、フナは生息した形跡がありません。水質浄化の方策としてフナの生息する池構造を創出できるかどうか、未来の課題になるのでしょうか。

第三は、干潟の再生・保全課題です。自然の状況だけでいえば小網代の干潟はラムサール条約による保全の条件をクリアしているはずですが、地元の漁業、観光業との共存を前提した未来を考えるためには、地域の理解をさらにひろげ、できれば神奈川県による特別条例のような形で保全・利活用共存の工夫が進む必要があると思われます。さらにいうと現在の干潟は、2011年の大地震に対応して繰り返した波動のために、周囲の自然植生だけでなく、干潟そのものの底土も大規模に流失して



おり、アマモ群落の激減にくわえて、泥干潟を一面におおったチゴガニなどのカニ類も激減して、かつての状況を回復できていないのです。利用者のマナーを啓発しつつ、あたらしい土砂の堆積、植生の回復を期待する日々が続いています。

小網代の森は浦の川の陸域の流域生態系だけでなく、干潟に対応する生態系、さらには小網代湾という生態系まで含めて、全体が浦の川の“拡大流域生態系”といっても過言ではありません。その地形、水循環、生態系の制約や可能性についてさらに理解をすすめながら、同時にその生態系・生物多様性と健全に共存することのできる、生活圈、産業圏、保全活用の文化をいかに育ててゆくことができるか、まだまだ課題は山積しているのです。

●参考図書

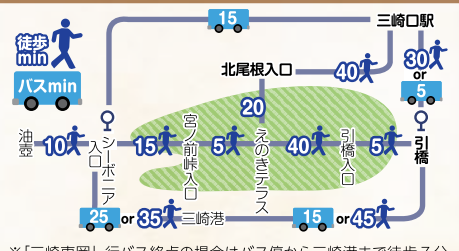
- 「奇跡の自然の守りかた」2016年/岸由二・柳瀬博一 ちくまプリマー新書
- 「流域地図の作り方」2013年/岸由二 ちくまプリマー新書
- 「生きのびるための流域思考」2021年/岸由二 ちくまプリマー新書
- 「小網代の森の未来への提案」1987年/ポラーノ村を考える会発行(藤田祐幸・岸由二)
- 「いのちあつまれ小網代」1987年/岸由二 木魂社

プロフィール
きし ゆうじ
岸 由二

慶応義塾大学名誉教授。専門は進化生態学、流域アプローチによる環境保全、都市再生、環境教育など

小網代の森アクセスマップ

移動時間の目安(分) スケジュール参考案内

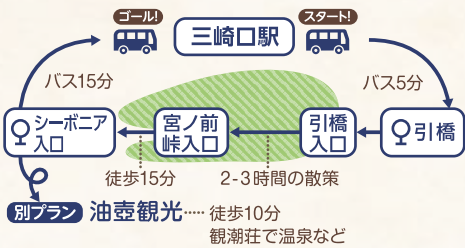


※「三崎東岡」行バス終点の場合はバス停から三崎港まで徒歩7分

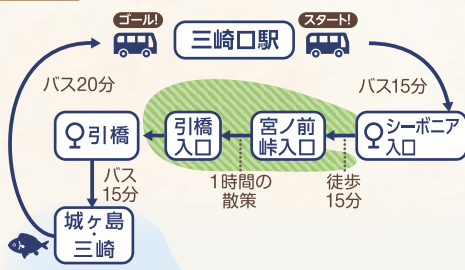
小網代の森
インフォメーションスペース



おすすめ1 森を満喫! 半日ゆったりコース



おすすめ2 森から城ヶ島・三崎1日コース



※「三崎東岡」行バス終点の場合はバス停から三崎港まで徒歩7分

引橋周辺MAP



会員優待施設
初音町入江54-2
三浦パン屋 充麦
商品購入で
クルトン プレゼント

「引橋」へは三崎口駅より京浜急行バスで
♀「油壺温泉」行き: ①のりば または、
♀「三崎東岡」・「三崎港」行き: ②のりば
「シーボニア入口」へは
♀「油壺温泉」行き: ①のりば



会員優待施設
小網代の森「ひげ爺の栢」
ランチメニュー注文で
コーヒー 1杯無料

会員優待施設
南下浦町上宮田3231
マホロバ・マインズ三浦
(日帰) 大浴場利用等
20% 引

広域MAP



ちよっぴー息!
緑地内で飲食できるエリアは
「えのきテラス」です

会員優待施設
シーボニアクラブハウス
レストラン
飲食代 10% OFF



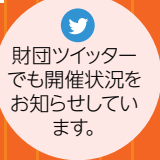
会員優待施設
三崎3-3-4
ミサキドーナツ
コーヒー 1杯無料

小網代の森の利用について
利用時間 4月~9月 7:00~18:00
10月~3月 7:00~17:00

イベント・ボランティアの参加について、急な中止・行程変更がありますことをご承知おきください。

かながわトラストみどり財団

2023年度 2023.9 ~ 2024.3/31



自然観察 & 体験イベント

イベント詳細及び申込方法は WEB サイトのイベントページにてご確認ください。

128号機関誌ミドリ (2023 春号) でもご確認いただけます。

〔共通事項〕 乗バス乗車 コース内のバス代は各自負担となります 乗船

「小机城址から鶴見川多目的遊水地の自然観察」から

イベント内容が変更されました

自然観察会

小田原城と城下町、自然と文化の調和した街巡り



30人 受付8/1 ~ 8/31 10月15日 10:00 ~ 15:00

会員 無料 一般 2,000円 学生 1,000円

【講師】 NPO法人全国森林インストラクター神奈川会

【集合】 JR小田原駅改札前観光案内所前10:00

※昼食(敷物)持参

【コース】 JR小田原駅改札前観光案内所前→小田原城址公園→報徳二宮神社→西海土通り→御幸の浜(昼食)→小田原城本丸(一旦解散)→ミナカ小田原→小田原駅

●小田原城と城下町・宿場町の自然豊かな歴史・文化にふれましょう。

自然観察会

キノコを学ぼう！キノコの特徴を正しく捉える方法

25人 受付7/1 ~ 7/31

9月16日 9:00 ~ 12:30 【コース】 相模大塚駅→泉の森→しらかしのいえ→相模大塚駅 ※ルーペ持参

自然観察会

秋の仙石原トラスト緑地で自然観察会

30人 受付7/1 ~ 7/31

9月30日 9:00 ~ 12:30 【コース】 箱根湿生花園→トラスト緑地→箱根湿生花園 ※別途入園料必要

自然観察会

舞岡公園で谷戸と里山の多彩な自然を楽しむ

30人 受付8/1 ~ 8/31

10月1日 10:00 ~ 15:00 【コース】 舞岡駅→舞岡公園(瓜久保の家 → 中丸の丘→小谷戸の里(昼食)→もみじ休憩所→ばらの丸丘)→舞岡駅 ※昼食(敷物)持参

自然観察会

鎌倉・満福寺から江の島を歩く

25人 受付8/1 ~ 8/31

10月28日 9:00 ~ 12:30 【コース】 腰越駅→満福寺→小動神社→瀧口寺→江の島(一旦解散)→小田急線片瀬江ノ島駅 ※別途拝観料・乗船料必要

自然観察会

横須賀 猿島で自然観察会

25人 受付9/1 ~ 9/30

11月11日 9:00 ~ 13:30 【コース】 横須賀中央駅→三笠公園→三笠棧橋→猿島→猿島棧橋→三笠棧橋(一旦解散)→横須賀中央駅 ※別途乗船料・入園料必要

歴史見学

古都鎌倉 秋の緑と歴史探訪

10人 受付9/1 ~ 9/30

11月25日 9:30 ~ 12:30 【コース】 鎌倉駅→大巧寺→蛭子神社→本覚寺→妙本寺→常栄寺→八雲神社→鎌倉生涯学習センター前(解散) ※別途拝観料必要

歴史見学

かわさき歴史探訪

30人 受付10/1 ~ 10/31

12月9日 9:00 ~ 12:30 【コース】 川崎駅→旧東海道→宗三寺→東海道かわさき宿交流館→田中本陣跡→初代市長石井泰助生家→六郷橋駅ホーム跡→六郷の渡し場跡→万年屋跡→富士瓦斯紡績工場跡→稲毛神社→砂子通り→佐藤本陣跡→橋樹郡役所跡→チネチッタ→川崎駅



野鳥観察会

境川遊水地公園での冬鳥の野鳥観察会

20人 受付11/1 ~ 11/30

2024年 1月20日 9:30 ~ 14:00 【コース】 六会日大前駅→県立境川遊水地公園(保野・下飯田・今田遊水地)→元木→湘南台駅 ※双眼鏡、昼食(敷物)持参

体験会

シイタケほだ木のお土産つき

各20人 受付12/1 ~ 12/31 ナラ枯れ対策処理体験会

2024年 2月3日・7日 9:30 ~ 12:30 【コース】 桜ヶ丘駅→久田緑地→桜ヶ丘駅 ※軍手、持ち帰り用大きな袋持参

自然観察会 **曾我丘陵で梅林からの眺望を楽しむ**
30人 受付 12/1 ~ 12/31
2024年
2月15日 日
9:30 ~ 15:00 【コース】 下曾我駅~中河原梅林~宗我神社~城前寺~別所梅林(昼食)~法蓮寺~原梅林~梅の里センター~下曾我駅 ※昼食(敷物)持参

自然観察会 **河村城址と洒水の滝を巡る**
20人 受付2024年1/1 ~ 1/31
2024年
3月22日 金
9:30 ~ 13:00 【コース】 山北駅→河村城址→展望所→洒水の滝→鉄道公園→山北駅

自然観察会 **早春の茅ヶ崎サザンビーチ海岸と椿庭園を楽しむ**
30人 受付2024年1/1 ~ 1/31
2024年
3月8日 金
9:30 ~ 14:30 雨天中止
予備日 3月15日 金 【コース】 茅ヶ崎駅→高砂緑地→茅ヶ崎館前→サザンビーチ海岸→茅ヶ崎公園(昼食)→氷室椿園→ヘッドランドビーチ→サイクリング道路→汐見台公園→辻堂海浜公園(一旦解散)辻堂駅もしくは藤沢駅行きバス停を案内。
 ※荒天によりコースの変更もありますことをご了承ください。

森へ行こう! 2023.9/6 ~ 2024.3/31 **森林ボランティア** 活動に参加しよう!

仙石原 箱根町 箱根小塚山緑地
100人(先着順) 受付 7/1 ~ 【集合】小田原駅西口 8:30
 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場はありません
除伐 **9月6日** 水
 予備日:9/7日

岩 真鶴町 真鶴町県行造林
100人(先着順) 受付 7/1 ~ 【集合】小田原駅西口 8:30
 /星が山公園さつきの郷駐車場
 9:30 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場があります
間伐 **9月14日** 日
 予備日:なし

岩 真鶴町 真鶴町県行造林
100人(先着順) 受付 7/1 ~ 【集合】小田原駅西口 8:30
 /星が山公園さつきの郷駐車場
 9:30 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場があります
間伐 **9月24日** 日
 予備日:なし

久野 小田原市 今井野
100人(先着順) 受付 7/1 ~ 【集合】小田原駅西口 9:00
 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場はありません
間伐 **9月30日** 土
 予備日:10/1日

久野 小田原市 今井野
100人(先着順) 受付 8/1 ~ 【集合】小田原駅西口 9:00
 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場はありません
間伐 **10月14日** 土
 予備日:10/15日

内山 南足柄市 県立21世紀の森
50人(先着順) 受付 8/1 ~ 【集合】県立21世紀の森駐車場
 9:30 ※自家用車駐車場があります
枝打 **10月22日** 日
 予備日:なし

仙石原 箱根町 町有林
100人(先着順) 受付 9/1 ~ 【集合】小田原駅西口 8:30
 /箱根町仙石原浄水センター駐車場 9:30 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場があります
植栽 **11月15日** 水
 予備日:11/16日

千村 秦野市 頭高山
60人(先着順) 受付 9/1 ~ 【集合】秦野駅南口 8:30
 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場はありません
除伐 **11月25日** 土
 予備日:11/26日



塚原 南足柄市 塚原水源林
100人(先着順) 受付 10/1 ~ 【集合】開成駅西口 8:30
 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場はありません
間伐 **12月3日** 日
 予備日:なし

麻生区黒川 川崎市 黒川海道特別緑地
120人(先着順) 受付 10/1 ~ 【集合】はるひ野駅南口 9:00
 ※徒歩で移動
 ※自家用車駐車場はありません
除伐 **12月9日** 土
 予備日:12/10日

塚原 南足柄市 塚原水源林
100人(先着順) 受付 10/1 ~ 【集合】開成駅西口 8:30
 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場はありません
間伐 **12月20日** 水
 予備日:なし

南区下溝 相模原市 県立相模原公園
100人(先着順) 受付 11/1 ~ 【集合】本厚木駅東口 9:00
 県立相模原公園管理事務所前
 9:30 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場があります
除伐 **2024年1月20日** 土
 予備日:1/21日

子易 伊勢原市 大山地区
60人(先着順) 受付 11/1 ~ 【集合】伊勢原駅北口 9:00
 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場はありません
除伐 **2024年1月27日** 土
 予備日:1/28日

麻生区上麻生 川崎市 山口白山公園
120人(先着順) 受付 12/1 ~ 【集合】新百合ヶ丘駅南口 9:00
 ※徒歩で移動
 ※自家用車駐車場はありません
除伐 **2024年2月10日** 土
 予備日:2/11日

南区大野台 相模原市 木もれびの森
100人(先着順) 受付 12/1 ~ 【集合】本厚木駅東口 8:30
 /現地 木もれびの森(イヌシデ広場) 9:30 ※専用バスで移動
 ※自家用車駐車場はありません
除伐 **2024年2月17日** 土
 予備日:2/18日

ナラ枯れ対策と木質資源活用

寄附いただいた方におゆずりします！

たんころ焼き火台
寄附受付中

■ ナラ枯れ被害木を活用したスウェーデントーチ ■

ナラ枯れ被害木を薪型に細かく割り、緑地内で十分な乾燥を与え、虫を駆除した後に薪として活用させていく「マキ寄附」事業を続けています。

同じく短く切った丸太(たんころ)に乾燥するように放射状に切り込みを入れ、乾燥させた「スウェーデントーチ」を寄附返礼品として扱っています。

寄附についてはナラ枯れ対策等の緑地保全のために使用させていただきます。

スウェーデントーチは空洞の中心部に火種をつけると安定して燃え続け、薪をくべる必要がありません。また、上部が五徳代わりに使えるため、網や鍋など調理器具を

おくこともできるため、キャンプなどの野外活動や災害用グッズとして活用できます。

普段は家の軒下に庭のオスジェとして置いておけます。また、自治会等での災害備蓄品や炊き出し練習用としても、活用の機会がありましたら、お問合せください。

【寄附額】3千円以上／1台～

【規格】高さ約40cm、
直径25cm以上

【樹種】コナラ

【受渡】

財団事務局で提供。事前にご連絡ください。



(問合せ)

財団事務局

TEL.045-412-2525

e-mail : midori@ktm.or.jp



処分される未利用木材の資源活用方法

■ 磨いてください“^{げんぼく}トラストの源木”プロジェクト ■

財団で管理するトラスト緑地で、年々、樹木の伐採や枝切りなどが増えてきています。特にここ最近では、樹木の高大化や繁茂が進み、維持管理コストの拡大が課題となっています。また、管理上で出た丸太や枝木などの運搬や廃棄処分費用も大きいのしかかります。

そこで維持管理上で産出した樹木の木片について、資源活用を目

的とする企業や団体に「未利用産出材」として提供し、製品化や企画事業を通して、その売上の一部を緑地保全のために寄附していただく“^{げんぼく}トラストの源木”プロジェクトを開始します。

産出材を緑地の原石(原木)としてとらえ、資源活用により寄附が生まれ、この資金が緑地保全の源となる取り組みであることを表し

ています。

活用を希望する企業や団体のお問合せをお待ちしております。

【試験期間】令和5年5月～令和6年3月

【活用資源】広葉樹や針葉樹などの丸太や枝木、竹など

(問合せ)財団事務局

TEL.045-412-2525

e-mail : midori@ktm.or.jp



ウワミズザクラの丸太からお椀に





ヤマユリの自生地再生をめざして

「かなユリ・チャレンジ」

2016年8月に便りをいただき、2017年より開始したヤマユリの自生地再生の取り組みですが、今年度で6年目に入りました。鱗片や木子からの繁殖は難しいものの、種子からの繁殖は順調です。引き続き緑地内の自生地環境を整備しながら、ヤマユリの株を見守っていきます。



子どもの成長とともに育む「森づくり」

成長の森

お子さま、お孫さまの誕生・入学・卒業記念に無花粉のスギやヒノキを植樹しませんか。

植樹地付近にお子さまの名前(希望者は生年月日)を記載した銘板を設置します。

【対象】令和5年10月31日現在で20歳未満の方

【参加費】1人につき3,000円(苗木代、銘板代等)

【申込期間】令和5年4月1日～10月31日

【定員】300名

【申込方法】財団HPまたは、はがきで。申込者の住所、申込者氏名(ふりがな)、電話番号、銘板に記載するお子様の名前(ふりがな、希望者は生年月日(和暦))を明記し、「成長の森係」宛までお申し込みください。詳細は財団事務局 成長の森担当 TEL.045-412-2255

植樹する無花粉スギ



—参加者からの感想—

◎子どもの誕生記念に申し込みました。子どもも苗木もまっすぐすくすく育ってくれるとよいなと思います。<しそかさん/30代女性>
◎植樹には初めての参加でしたが、スタッフの皆さんの丁寧な説明で楽しくできました。今後、自分の植えたスギの成長が楽しみです。<ひろりんさん/60代女性>

トラスト会員の輪をみんなで広げていきませんか

会員募集推進員を募集します！

トラスト会員募集のお手伝いをさせていただき、会員募集推進員を募集します。

活動内容として、自治会やお友達同士の集まりで会員になってもらえるように声掛けをお願いします。また、ブログやSNSを通じて会員募集をしていただいてもかまいません。

かながわのナショナル・トラスト運動を盛り立てるために、今こそ会員の皆さんの力が必要です！ぜひ会員募集のお手伝いをお願いします。

【参加方法】

ご希望の方は、財団事務局から資料をお送りします。

【参加条件】

財団のトラスト会員に登録している、満18歳以上の方。
※詳細は 財団事務局 会員担当 TEL.045-412-2525



「2023 かながわ緑の大使」が活動を開始しました。

「みどりの日」に財団リーフレット配布！

5月4日(木・祝)「みどりの日」。この祝日に多く皆さまに「みどり」にもっと関心を持ってもらおうと秦野市「ヤビツ峠」バス停と伊勢原市「大山ケーブル」バス停付近で財団リーフレットを配布しました。

朝早くから現地に赴いた大使たち。「受け取ってもらえなかったらどうしよう」と心配していたようですが、配り終わると「みんな関心をもって受け取ってもらえて嬉しかった。もっとみどりに関心をもえたら!」、「こんなに新緑がきれいな風景を沢山残したい!」と、これからの活動への意欲があふれていました。



「緊張する」と言っていました。丁寧な挨拶や声掛けを行っていました。



大山ケーブルバス停では吉村大使(左)と野元大使(右)

ヤビツ峠では与那嶺大使が奮闘! 朝早くからリーフレットを配布しました



感想を送ってプレゼント

機関誌「ミドリ」やイベントなどの感想を募集中

A 書籍／3名様

『「奇跡の自然」の守りかた 三浦半島・小網代の谷から』
著:岸由二／柳瀬博一
小網代の森がどのようにして守られたか。神奈川県三浦半島という都市域に残された大きな緑の谷のユニークな保全の歴史や、自然再生を「流域思考」を基礎に進められた実践活動など、森の保全のあり方をまとめた一冊。



お便りをいただいた方の中から
抽選でプレゼントします。

応募方法：①「129号プレゼント希望」とA～B／②〒と住所／③連絡先(電話やメール)／④氏名／⑤あれば会員番号／⑥機関誌「ミドリ」アンケート(右記)、イベントや財団活動への感想やご意見など①～⑥を明記し、メールやハガキにて2023年8月31日(木)までにご応募ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

B 額縁／1名様

『木目引き立つ額縁』
「森からの贈り物プロジェクト」
久田緑地産材の額縁。L版写真サイズが入ります。



◎機関誌ミドリ129号アンケート◎

- Q1.興味関心を持った誌面を教えてください。(複数回答可)
- Q2. 1を選んだ理由は?
- Q3.県内の炭焼小屋や活動について情報があれば教えてください。昔の思い出話もぜひ! (任意)
- Q4.そのほか、ミドリへの感想や取り上げてほしい話題など。

編集 後記

タイムリーなハナムグリ

GW連休に庭先に咲くカラーを見ると、「むしどりの日常」で登場したハナムグリが、まさに花卉とめしへの棒に突っ込んで脚を万歳している光景に出くわしました。あ～逆さまでやってるな～と微笑ましく思ったまではよかったのですが、翌日もその体勢のまま。2～3日と過ぎてても微動

だにせず、もしや挟まって動けなくなったのではと心配に思った4日目。なんと顔が見える位置まで反転して停止中。5日目には無事に飛び立っていました。

なんとも長い食事中だったのか、虫のみぞ知る世界。(壺崎)



小網代の森の 保全活動のために ご支援ください



神奈川県三浦市にある小網代の森は、アカテガニやホタルなど多くの生きものたちが生息する自然豊かな森です。

NPO法人 小網代野外活動調整会議の活動



アカテガニ



ゲンジボタル



同封の振込用紙の 取扱いについて

- ①本用紙は「キャンペーン用振込用紙」です。 会員会費や緑のグッズ募金の振込には使用しないでください。
- ②振込の内訳に記載がない場合は、財団事業への寄附とさせていただきます。
- ③領収書等礼状の不要、ミドリ等の掲載不要(匿名希望)の方は通信欄に口をお願いします。
- (公財) かながわトラストみどり財団への寄附金は、所得税・法人税の控除が受けられます。

所得税・住民税の 優遇措置について

(公財)かながわトラストみどり財団への会費や寄附は確定申告をすることによって、所得税、住民税の還付を受けることができます。ただし、県民税や市町村民税の控除は各自治体によって異なります。なお、控除額の計算は①②いずれかを選択することができます。

①税額控除(所得税)

① 所得税の減少分

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 40%

② 住民税の減少分

県民税 (年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 2%

(②の例)：横浜市税

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 8%

②所得控除

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円)の金額を、その年分の所得から控除するもの。

相続税の非課税

相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなってから10か月)までに寄附された場合は、その寄附額は相続税が非課税となります。

SEABORNIA

CLUBHOUSE RESTAURANT

海を一望できるオーシャンビューの店内で
非日常に誘われるお食事のひと時を



シーボニア クラブハウスレストラン

tel:046-882-1216

〒238-0225 神奈川県三浦市三崎町小網代 1286 「リビエラ シーボニアマリーナ」内

平日 11:30 ~ 14:30 L.O. ※ランチ営業のみ

土日祝 11:30 ~ 19:00 L.O.

定休日 火曜日 (7月8月は無休)



排出事業者向け

産業廃棄物管理システム

シゲンクラウド

検索



SHIGEN Cloud

運営会社：株式会社シゲン

MAIL : info@shigencloud.co.jp TEL : 045-222-0888

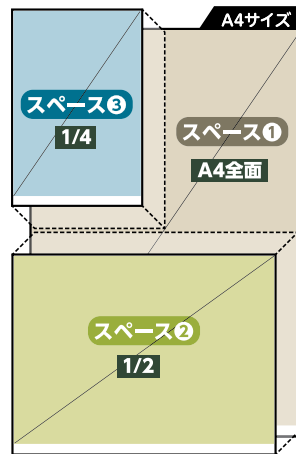
URL : https://shigencloud.jp



法人・団体会員様を 紹介いたします！

法人団体会員など財団事業をご支援いただいている企業・団体様の広告を募集しています。日頃の社会活動をPRする機会としてご利用ください。掲載料は機関誌「ミドリ」の制作費の一部として使用します。

年4回をまとめる場合は、
3回分の掲載料で
お受けしております



規格 及び 掲載料

規格	サイズ (幅×高さ)	掲載料
スペース①	全面広告 (180W×270H)	80,000円
スペース②	1/2広告 (180W×130H)	40,000円
スペース③	1/4広告 (88W×128H)	20,000円

再生可能エネルギー100%で、印刷工場が所有する施設や車両、購入した電力などエネルギーの製造時に排出されるCO₂全量をカーボンオフセット(相殺)した「CO₂ゼロ印刷」で印刷しています。また大気汚染の原因物質であるVOC(揮発性有機化合物)を削減したノンVOCインキを使用しています。

